

販売店様・加工店様へお願い

この度は、当社製品をお買上頂誠に有難うございます。
 枠の組立・取付の際には、本マニュアルをご一読頂きますようお願い申し上げます。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直接日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・ケーシングは壁・床仕上げ後取付けてください。
- 注意** ・施工時、雨がかからない様にご注意ください。
- お願い** ・取付の際、水平・垂直・ねじれ（対角）にご注意ください。

壁厚に対する枠（枠中）の選び方

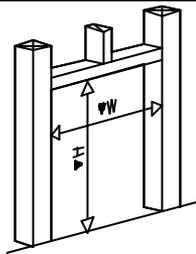
量寄せ12mmを使用する場合			量寄せ18mmを使用する場合		
対応壁厚	枠見込	ケーシング見込	対応壁厚	枠見込	ケーシング見込
123~130	134	24	117~124	134	24
130~137		31	124~131		31
142~149		43	136~143		43
149~156	160	24	143~150	160	24
156~163		31	150~157		31
169~175		43	162~169		43

開口部の作り方

製品寸法（W、H）を確認した上、下記の寸法を参照して開口部を作ってください。

製品寸法表		[単位:mm]	
呼称	呼称	3尺間	枠見込
6.6尺	2020	134	□TW720DCR (L)
		160	□TW720DDR (L)

□-M-L-B-Y
 表中W・Hは、それぞれ枠見込・出来高を表す。



開口部は差し金、
 下げ振り等を使用
 して水平・垂直に
 ご注意ください。

開口▼W=枠W+10mm
 開口▼H=枠H+5mm

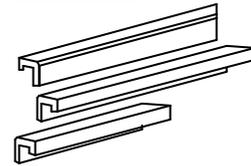
梱包内容

枠梱包	梱包内容	姿図	数量
	上 枠		1
	下 枠		1
	縦 枠		左右 各1
	戸当り材		上 1 縦 2
ビス	ドア枠組立ネジ N3.5X50フレキコスレット		8
	枠取付ビス縦枠用 N3.5X50フレキコスレット		12
	小シート		1
	組立、施工マニュアル		1

本体梱包 ドア本体

部品箱 ハンドル、T番など

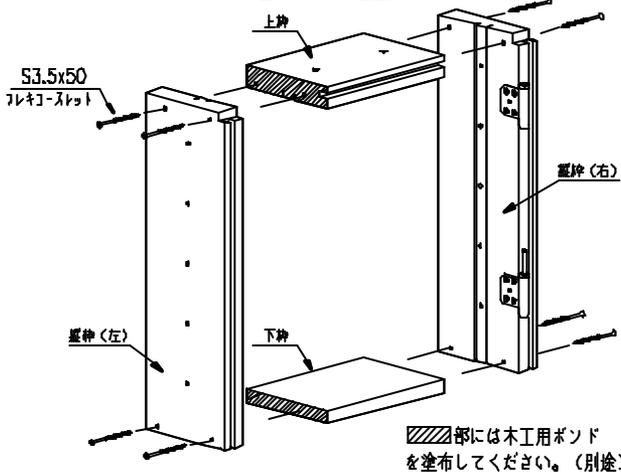
ケーシング梱包



横材x1、縦材x2

枠部材の組立

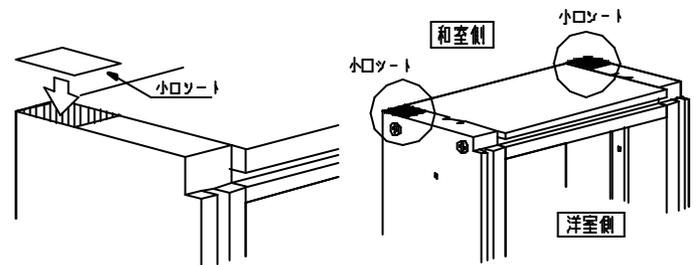
各部材の断面に、木工用ボンド（別途）を塗布してから、
 下図に従い枠を組立てください。



斜線部には木工用ボンド
 を塗布してください。（別途）

縦部材の小口の処理

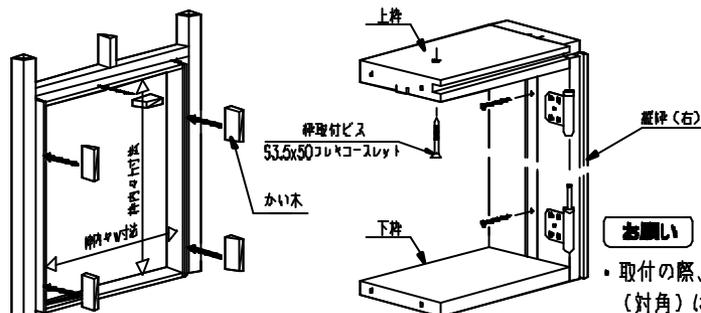
縦枠の小口部に小シートを貼り付けてください。（上部和室側）
 小シートは部材断面に合わせてきれいに貼り指で強く押しつけてください。



枠の取付け

組み立てた枠を開口部へ挿入し、出入り
 水平・垂直、ねじれを十分に調整した後、
 ファイナー（かい木）を約300mm間隔で
 入れ木ビス（同梱）で固定してください。

枠内々寸法 [単位:mm]			
枠見込	記号	h	W
134	□TW720DCR (L)	1975	670
160	□TW720DDR (L)		



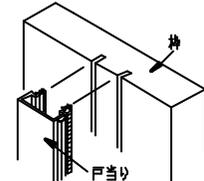
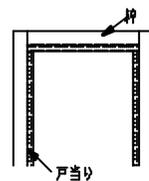
お願い

・取付の際、水平・垂直・ねじれ
 （対角）にご注意ください。

戸当りの取付け

壁・床材仕上げ後戸当りを取付けてください。
戸当りの突起部に木工用ボンド（別途）を付け、枠の溝に当て木をしてたたき込んでください。

*戸当りは横通しとなっています。
斜線部には木工用ボンドを塗布してください。（別途）



丁番の取付け

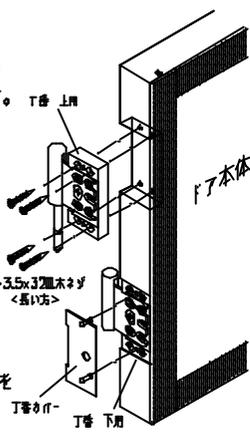
*本体側丁番は部品箱に入っています
（本図は右吊り元の例です）

ドア本体に丁番を木ネジで取付けます。丁番上
丁番には右用、左用以外に
上用、下用がありますので
注意して取付けてください。

注意

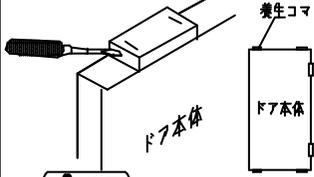
丁番は木ネジでゆるみのないよう
しっかりと取付けてください。
丁番を取付ける際、和室側の廻り縁に
傷をつけないように注意してください。

丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを
しっかりと嵌め込んでください。



養生コマの取り外し

本体を吊り込む前に、本体を養生している
コマ（木片）を取り外してください。



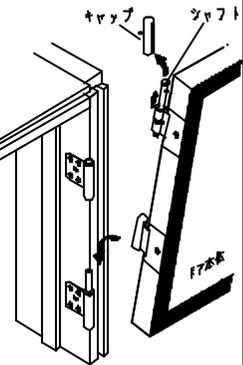
注意

外したコマは針が
飛び出していますので
ケガをしないように
折り曲げて処理
してください。

ドア本体の吊り込み

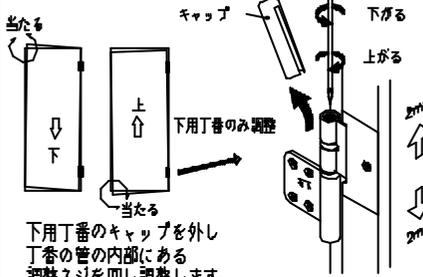
本体上用丁番のキャップを外し、
シャフトを引き上げます。
枠下用丁番のシャフトへ本体下用
丁番を差込み、次に枠上用丁番へ
本体上用丁番を乗せてシャフトを
「カチッ」と音のする位置まで
落とし込みます。

最後に外してあったキャップを
かぶせます。
（本図は右吊り元の例です）



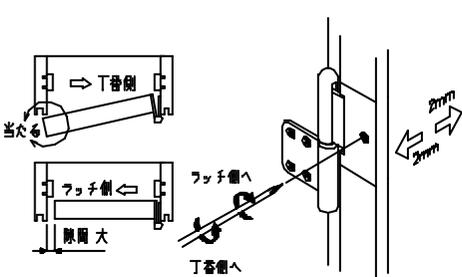
丁番の調整

上下調整 フラッチ側の上、下が当たる場合



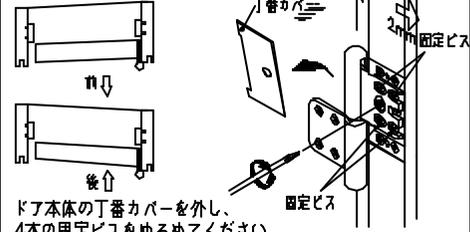
下用丁番のキャップを外し
丁番の管の内部にある
調整ネジを回し調整します。
右に回せばドアは上方へ2mm
左に回せばドアは下方へ2mm 調整できます。
調整が終わりしたら、キャップをかぶせてください。

左右調整 フラッチ側の扉枠に当たったり、隙間がでる場合



ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビス
を回し調整します。
右に回せばドアはフラッチ方向へ2mm
左に回せばドアは丁番方向へ2mm 調整できます。

前後調整 左右扉枠がネジれている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、
4本の固定ビスをゆるめてください。
中央の前後調整ビスを回し調整します。
前後へ2mmずつ調整できます。

注意

調整が終わりしたら、4本の固定ビスを完全に
締め付けてください。
先ほど外したカバーをしっかりとはめ込んでください。

ケーシングの取付け

① ケーシングは長めに切断してあります。
現場寸法に合わせてカットしてください。

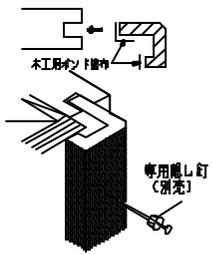
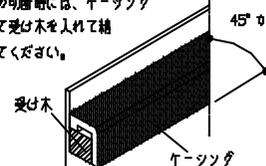
ケーシングは壁・床材仕上げ後です

② ケーシングの留め切りは、ケーシングの裏面に受け
木をかませ、45°斜めカットをしてください。

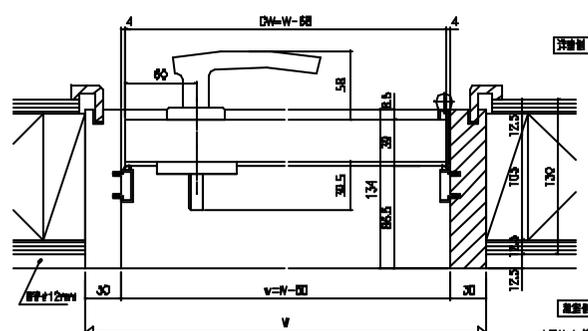
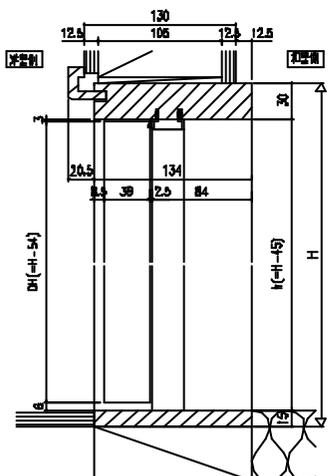
ケーシングの留め切断時には、ケーシング
裏面に治具として受け木を入れて精
確よくカットしてください。

③ 木工用ボンド（別途）をケーシングに塗布し
ケーシングの足を枠のケーシング用溝に
差込んで固定してください。

・ボンドが乾くまでの仮止めに専用カク釘（別途）を
ご利用ください。
・カク釘の頭をとばした後、パッチャレペンシル材
（別売）で補修してください。



参考納まり図



木製はL編みとなります。